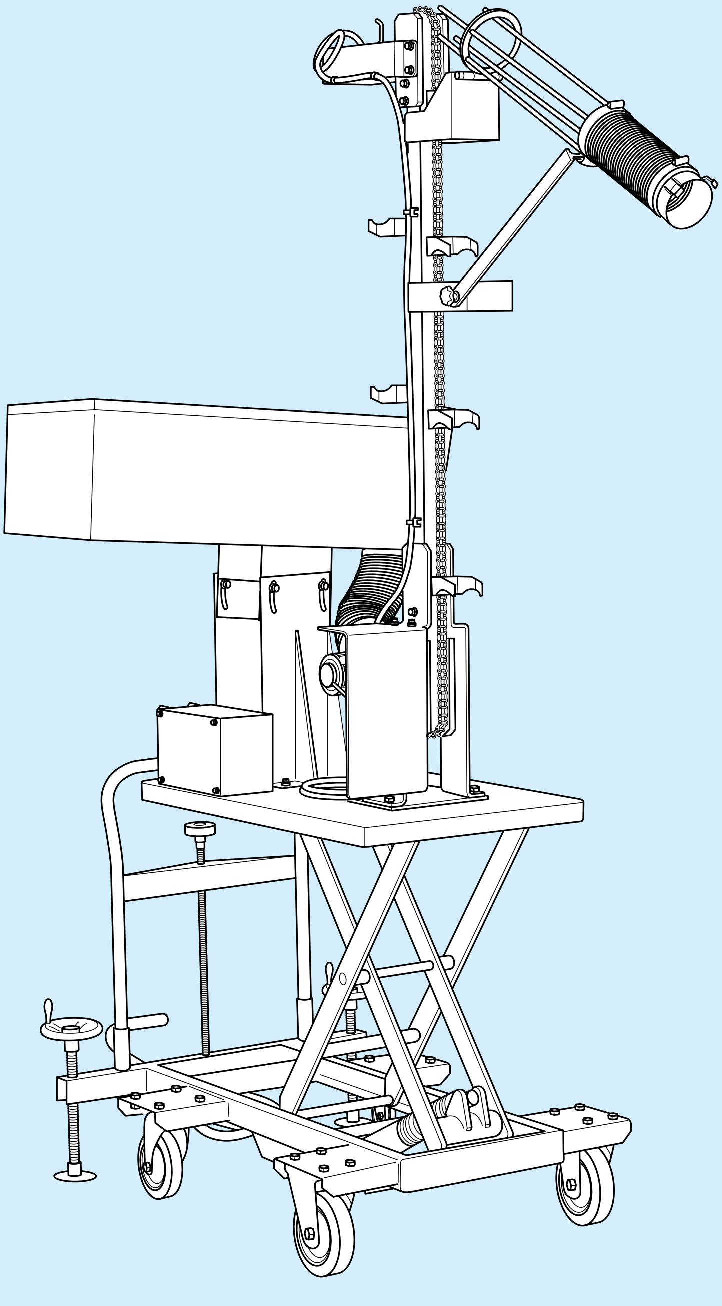
ボールフィーダーFACタイプ

取扱説明書 ■ご使用前に必ずお読みください。

型　式
FAC



このたびは、弊社のボールフィーダーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

※本書はボールフィーダー使用者が、**いつでも読めるところに必ず保管**してください。
※ボールフィーダーの取り扱いは、ボールフィーダーの危険性をこの取扱説明書をよく理解された方が行なってください。
※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよく お読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、**あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもの**です。
※このボールフィーダーは、野球（硬式）の練習以外に使用しないでください。
※絵表示と意味は、次のようになっています。

⚠ **危険**　取扱を誤った場合、**「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容を示しています。

⚠ **警告**　取扱を誤った場合、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容を示しています。

⚠ **注意**　取扱を誤った場合、**「傷害を追う可能性、および物的損害のみの発生が想定される」**内容を示しています。

守っていただくべき義務行為を示しています。

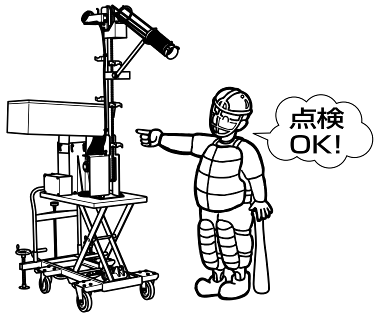
禁止の行為であることを告げるものです。

感電の恐れがあることを告げるものです。

発火の可能性があることを告げるものです。

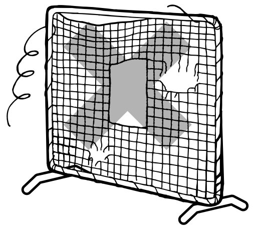
⚠ 危　険

事故を防ぐために**ピッチングマシーン・ボールフィーダー使用前には本体（リード線・ツメ・シュート・リミットスイッチ・投球合図ブザーなど）に異常がないか点検してください。**



使用前にはネットに異常がないか確認してください。破れたネットは、打球が突き抜ける恐れがあり大変危険です。必ず補修・交換してください。

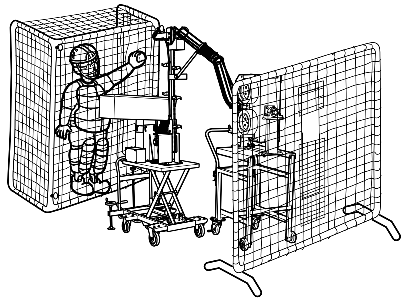
ピッチングマシーン・ボールフィーダーを使用する時は、マシーン前ネット・防球用ネットを設置してください。操作する人をつける場合は、安全のためにヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具及びマシーン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を必ず着用・設置してください。



使用時の注意

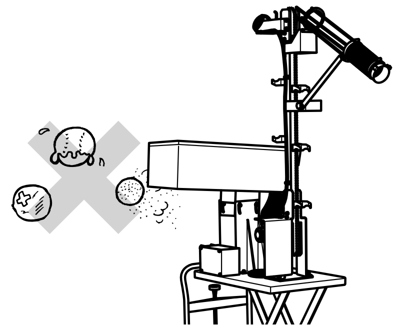
⚠ 危　険

革や糸が切れているボール、硬さの一定しないボール、大きさの異なるボール、傷みのひどいボール、濡れたボールなどは使用しないでください。
コントロールが悪くなり、予想外の方向に飛ぶ恐れがあります。



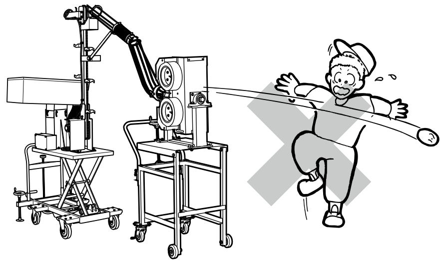
アースは必ず接地して使用してください。万一、ピッチングマシーン・ボールフィーダーが漏電した場合、感電する恐れがあります。

ピッチングマシーン・ボールフィーダー使用中は、周辺及び使用範囲（ボールが届くと思われる範囲）には、関係者以外近づけないようにしてください。



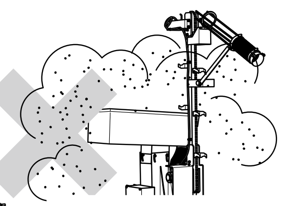
ピッチングマシーン・ボールフィーダー使用中は、大変危険ですから絶対にピッチングマシーンの前を横切らないでください。

球速やコントロールの調整時は大変危険ですからキャッチャー、バッターは定位置に付かないでください。
設定変更直後はコントロールが変わりますので充分に注意してください。

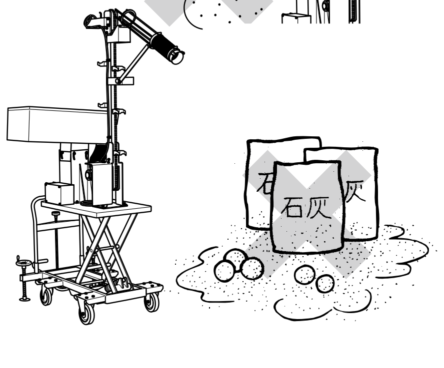


回転している部分には、絶対に触れないでください。

ボールフィーダー作動中にピッチングマシーンへのボール供給が途絶えても、ピッチングマシーン・ボールフィーダーを停止させるまで投球線上（ピッチングマシーンの前）には絶対に出ないでください。球切れと思える場合でもツメ・シュート・ボール送りスプリングにボールが残っていて、投球される危険があります。



ピッチングマシーン・ボールフィーダー使用中に振動が大きくなったり、異音がした場合は、直ちに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜き、ピッチングマシーン・ボールフィーダーの使用を中止してください。



ピッチングマシーン・ボールフィーダーは屋内で湿気やほこりの少ない場所に保管してください。

安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

⚠ 警　告

雨の日はピッチングマシーン・ボールフィーダーやコードリールを絶対に使用しないでください。また、ピッチングマシーン・ボールフィーダーやコードリールは水などで濡らさないように注意してください。
濡れた手で電源プラグに触ると感電の恐れがあります。

硬式ボール以外は絶対に使用しないでください。

ピッチングマシーン・ボールフィーダーの作動中は電源スイッチ以外の部分に手を絶対に触れないでください。
回転物などに手を触れるとケガをする恐れがあります。調整は必ず電源スイッチをOFFにし、ボールフィーダーが完全に停止したのを確認してから行なってください。

複数の打席で同時にバッティング練習するときには、他打席の打球にも十分注意してください。

ボールフィーダーは絶対に分解しないでください。

ボールフィーダーを降下させる時にはテーブルの下に手や足を入れないでください。

弊社指定部品以外の部品は絶対に使用しないでください。
※指定部品以外を使用し、万一事故が発生した場合は、責任を負いかねます。

⚠ 注　意

コードリールのコードは必ず全部引き出して使用してください。巻いたまま使用すると、コードが発熱し、被覆が溶けてショートすることがあります。(燃えることもあります。)

ボールフィーダー本体を移動させる場合、リード線を本体にからませないようにしてください。

ピッチングマシーンの調整試投時はボールフィーダーを使用しないでください。ピッチングマシーンの調整試投時にボールフィーダーを装着すると、コントロールなどを調整している際、接続箇所が取り外れる恐れがあります。

ボールフィーダーの移動は電源スイッチをOFFにし、ピッチングマシーン・ボールフィーダーが完全に停止したのを確認してから、転倒させたり、ぶつけたりしないように注意して、移動用取っ手を持って大人２人以上で移動させてください。
※グランドはぬかるんだりして転倒につながる可能性がありますので注意してください。
※昇降台を上げたまま移動しないでください。ボールフィーダーが倒れる恐れがあります。

電源プラグは、必ず根元を持って抜いてください。リード線を引っ張ると、断線やショートの原因になります。

商品が到着したら確認していただきたいこと

- 到着した商品が、注文された商品であることを確認してください。
- 到着した商品が、運送途中、その他のトラブルなどで損傷・破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは、購入先の販売店まで至急ご連絡ください。この場合は、商品を絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適用を受けることができなくなります。

※商品の到着より点検、確認、連絡まで５日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適用が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

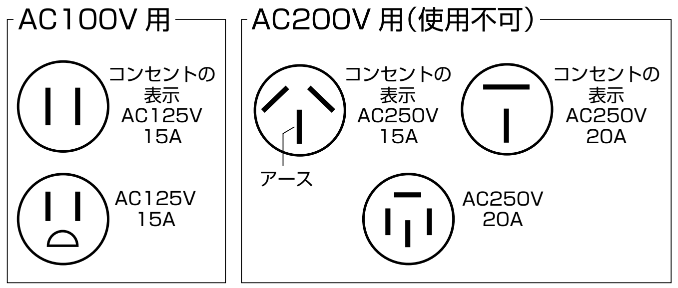
もくじ

安全上のご注意 …… 1
商品が到着したら確認していただきたいこと …… 4
もくじ …… 4
使用環境について確認していただきたいこと …… 5
各部の名称 …… 6
シュートＢの取付方法 …… 7
ピッチングマシーン・ボールフィーダーの設置について …… 8
使用ボールについて …… 8
ボールフィーダーの使用手順 …… 9
消耗品について …… 11
トラブルシューティング …… 12
アフターサービスについて …… 13
表示シール（一覧）…… 14
仕様 …… 14

⚠ 使用環境について確認していただきたいこと

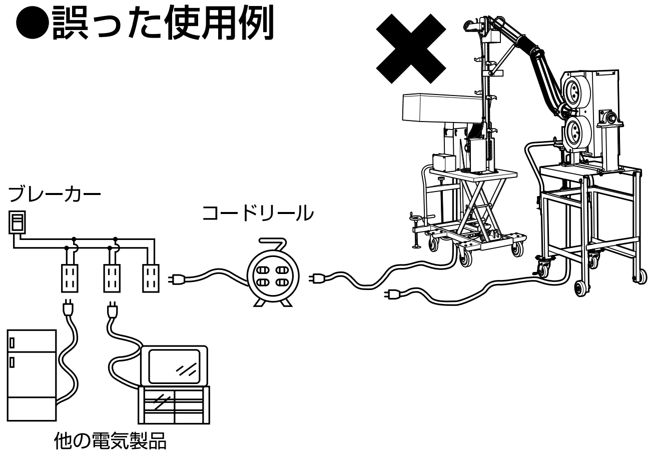
- ボールフィーダーに使用するコンセントの形状・電圧を確認してください。
- ボールフィーダーに使用するコンセントに流れている電圧をテスターで実測してください。
- このボールフィーダーは **AC100V** 専用です。モーターが破損しますので **AC200V では絶対に使用しないでください**。
- ボールフィーダーに使用するコンセントのブレーカーは、**20A** 以上を使用してください。またコンセントは、単独回路（20A）で使用してください。図に示すような状態で使用した場合は、ブレーカーが落ちることがあります。

【代表例】

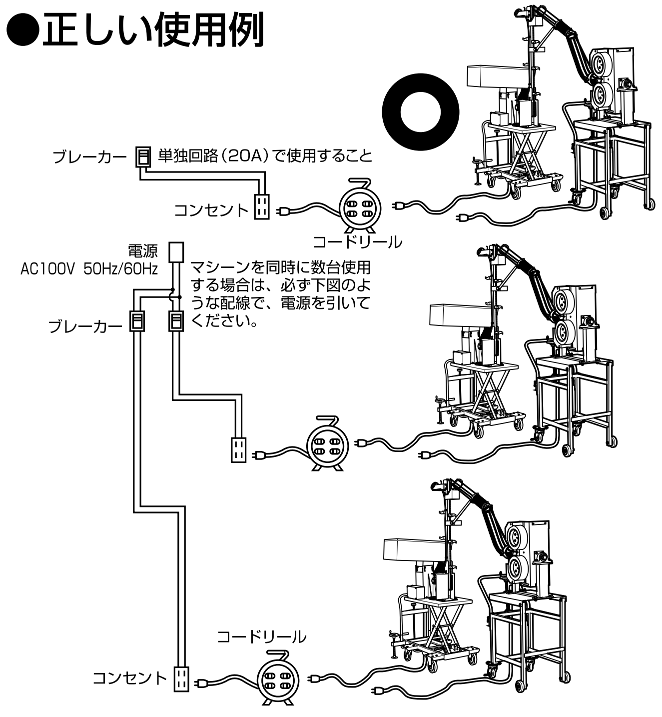


コンセントの表示又は型式により電圧を自己判断するのは危険です。必ずしもコンセントの形状に合った電圧がきているとは限りません。テスターにより、電圧を実測してください。

●誤った使用例



●正しい使用例

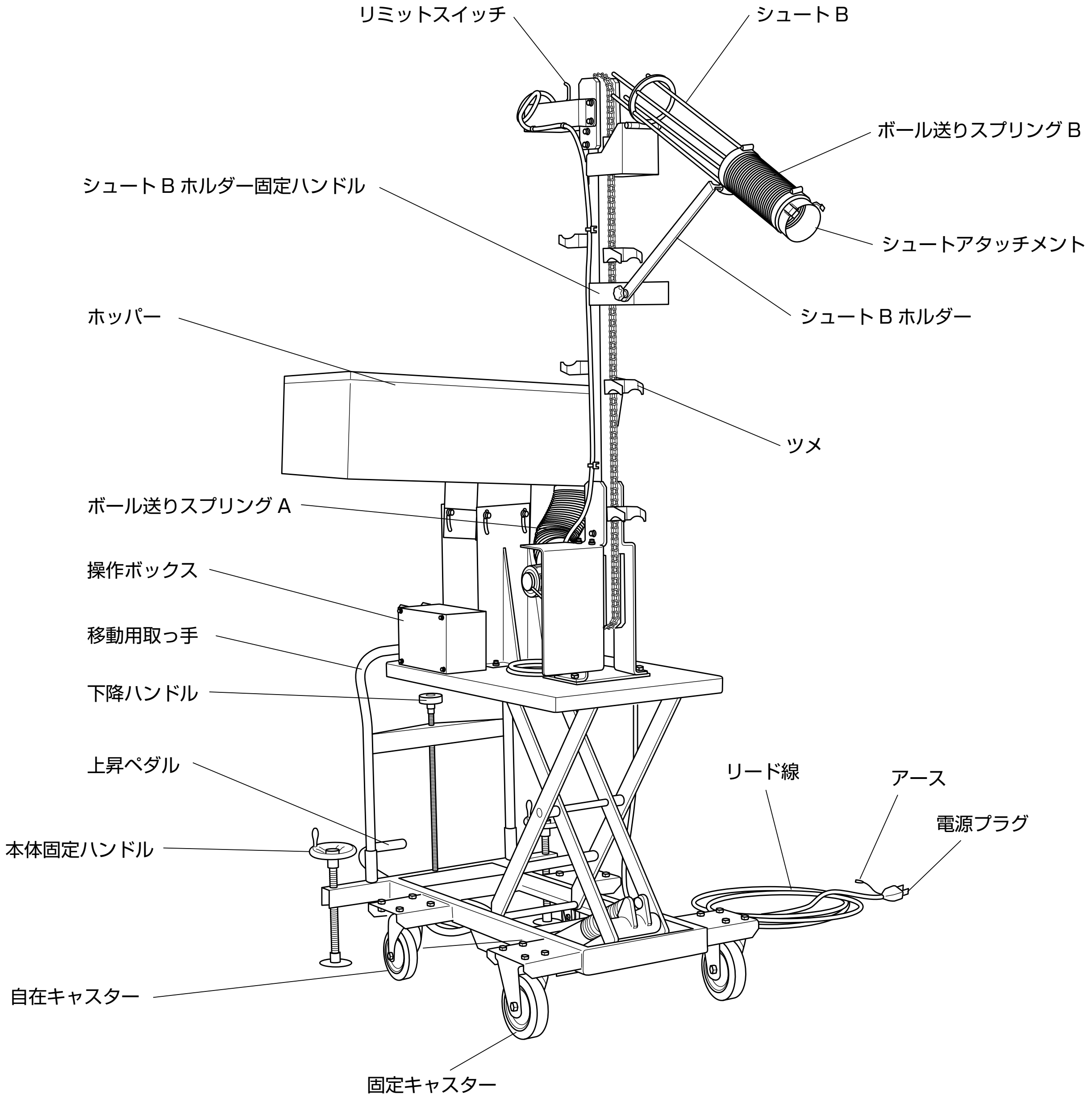


- コードリールを使用する際、**コードは必ず全部引き出してください。**
- 発電機を使用する場合は、**2.3kw 以上**の商品を使用し、発電機の取扱説明書をお読みのうえ、操作してください。

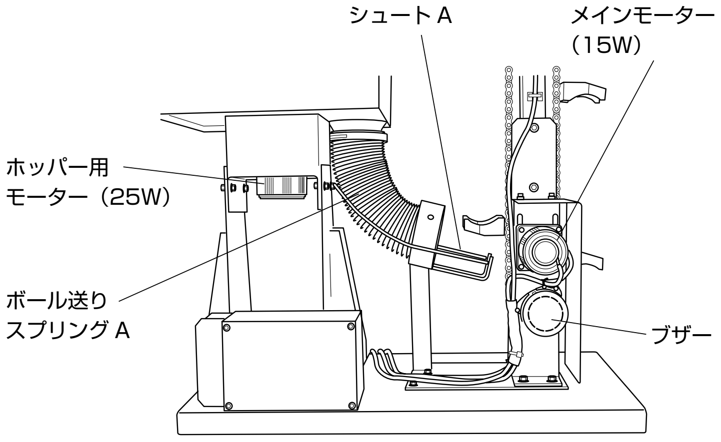
注）20A（アンペア）以下のブレーカーを使用すると、マシーンの電源スイッチを ON にし、速度を上げる途中でブレーカーが落ちる場合があります。（容量不足）

注）コードリールの全巻時の最大定格電流は 7A です。全て引き出したときに、定格電流 15A になります。（100V・50m・15A 用）コードリールは全巻時 7A を超過した場合、コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃えることがあり、大変危険です。

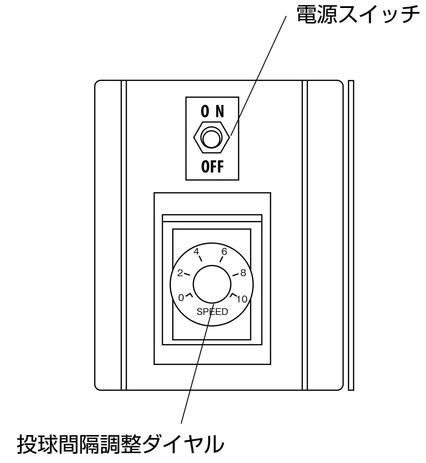
各部の名称



側面図



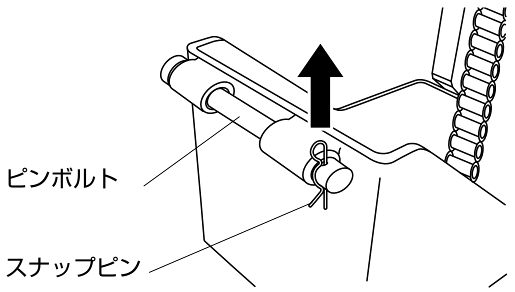
操作ボックス



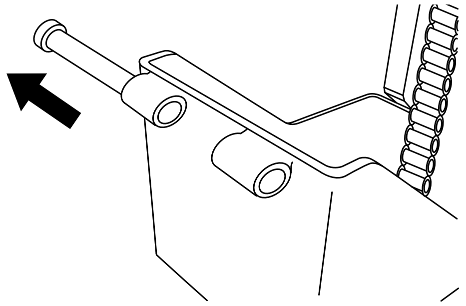
シュートＢの取付方法

◉使用する前にシュートＢを取り付けてください。

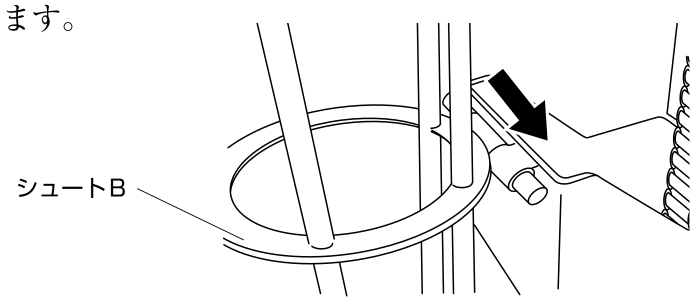
1 ピンボルトからスナップピンを引き抜きます。



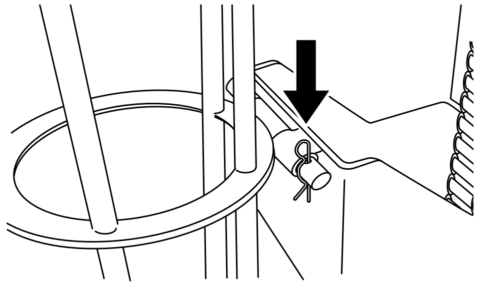
2 ピンボルトを引き抜きます。
※完全に引き抜く必要はありません。



3 シュートＢを取り付け、ピンボルトを差し込みます。



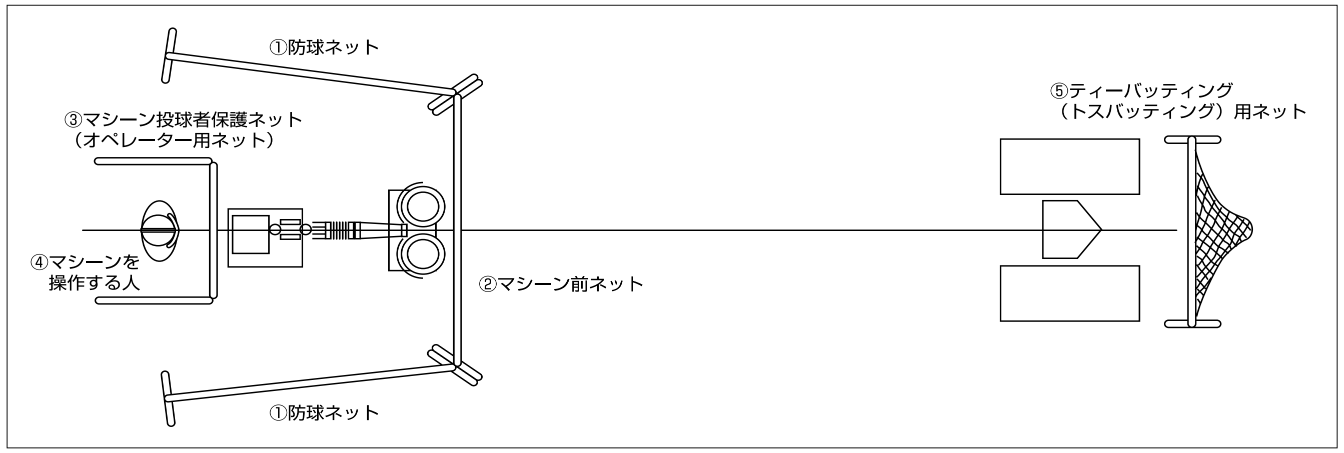
4 ピンボルトの穴に、1 で抜いたスナップピンを差し込んで完成です。



ピッチングマシーン・ボールフィーダーの設置について

◉「安全上のご注意」(P. 1～3）をよく読んで使用してください。

◉安全にピッチングマシーン・ボールフィーダーを使用するために、下図の要領でマシーンを設置してください。



①防球ネット
複数の打席で同時にバッティング練習するときには、他打席からの打球にそなえるために防球ネットを設置してください。

②マシーン前ネット
ピッチングマシーン・ボールフィーダーおよびマシーンを操作する人を打球から守るために設置してください。ネット部をマシーン側に軽く押してマシーンに接触しない間隔をあけて設置し、動かないように固定してください。

③マシーン投球者保護ネット（オペレーター用ネット）
マシーンを操作する人を付ける場合は、マシーンを操作する人を守るために設置してください。

④マシーンを操作する人
マシーンを操作する人を付ける場合は、安全のためにヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を必ず着用してください。

⑤ティーバッティング（トスバッティング）用ネット
ボールの捕球のために設置します。キャッチャーは絶対に つかないでください。

使用ボールについて

◉ボールフィーダーは硬式専用です。硬式ボール以外は絶対に使用しないでください。ボールが詰ったり、ボールの種類によっては部品の損傷にもつながります。

◉よりよくご使用いただくために、同じメーカー及び同程度の使用頻度のものを使用してください。

◉糸切れ・革切れ・革の浮いているもの・濡れたもの・水を含んで重たいものなどは使用しないでください。
ボール詰まりの原因となります。

ボールフィーダーの使用手順

①ボールフィーダー本体や使用するボール・ネット・防具に異常箇所がないか点検してください。

②ピッチングマシーンの投球設定を行なってください。
※調整試投時はボールフィーダーを使用しないでください。ピッチングマシーンの調整試投時からボールフィーダーを装着すると、コントロールなどを調整している際、接続箇所が外れる恐れがあります。

③ピッチングマシーンの投球設定が完了したら、ボールフィーダーを使用位置に移動させ設置し、本体固定ハンドルで固定してください。

④「ピッチングマシーン・ボールフィーダーの設置について」(P. 8) の要領でネットの設置をしてください。

⑤ホッパーにボールを入れてください。

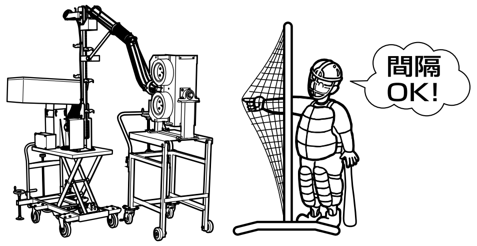
⑥使用する高さまで本体テーブルを上昇させてください。ピッチングマシーンへのボール投入位置に合わせて、上昇ペダルを踏み込み、上昇させてください。下降ハンドルを回すと、本体テーブルが下降します。

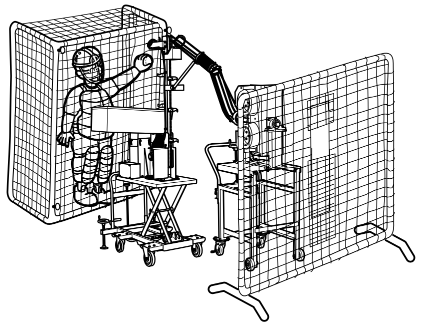
⑦シュートBを適当な位置に固定してください。シュートBホルダー固定ハンドルを反時計回りに回してゆるめてください。シュートBを適当な位置まで上げ、シュートBホルダーで支え、シュートBホルダー固定ハンドルを時計回りに回して固定してください。**【図 -1】**

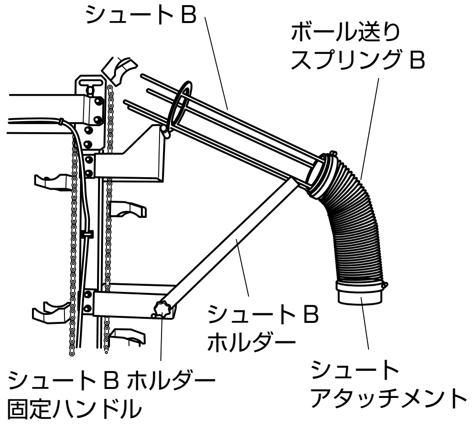
⑧ピッチングマシーンのシュート筒にシュートアタッチメントを取り付けてください。**【図 -2】**

⑨コードリールのコードを全て引き出し、打球の当たらない場所にコードリールを設置してください。

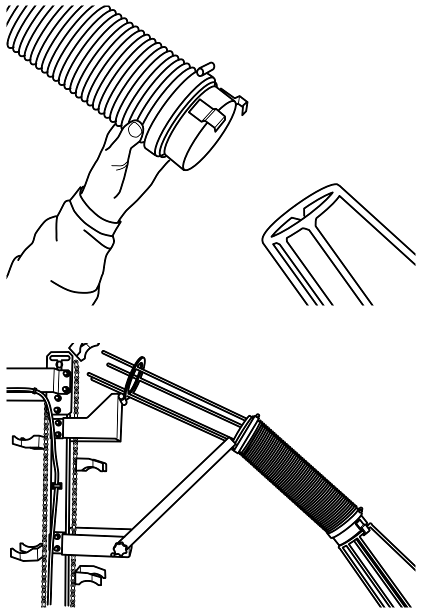
⑩電源スイッチが OFF になっている事を確認し、アースを接地した後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。







【図 –1】



【図 –2】

ボールフィーダーの使用手順

⑪周囲の安全を確認後、ボールフィーダーの電源スイッチを ON にしてください。
※投球間隔調整機能（約3秒～）が付いています。投球間隔調整ダイヤルを回し、お好みの投球間隔に合わせてください。購入時は、最長設定になっているため電源スイッチをＯＮにしても作動しません。ダイヤルを時計回りに回して、始動させてください。
※ボールがリミットスイッチに接触すると、投球合図のブザーが鳴ります。
※ピッチングマシーンは、約５秒の投球間隔が必要です。

⑫ボールフィーダーの使用が終了したら、ボールフィーダーの電源スイッチを OFF にしてください。
※ボールフィーダーと ピッチングマシーン両機種の使用を同時に終了する場合は、まず最初にボールフィーダーを停止してください。先にピッチングマシーンを停止させると、停止操作中にもボールフィーダーからボールが供給され、不意に投球する恐れがあり大変危険です。

⑬電源プラグをコンセントから抜き、アースを外してください。

⑭シュートアタッチメントをピッチングマシーンのシュート筒から取り外してください。

⑮シュートＢを収納してください。シュートＢ、シュートＢホルダーを手で支えたまま、シュートＢホルダー固定ハンドルを反時計回りに回してゆるめてください。シュートＢホルダー、シュートＢを順に下げてください。

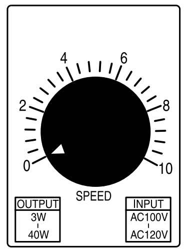
⑯ホッパーやツメに残ったボールを取り除いてください。

⑰本体テーブルを下降させてください。下降ハンドルを回すと、本体テーブルが下降します。

⑱本体固定ハンドルを回して外し、移動用取っ手を持ち、ボールフィーダーを収納してください。
大人２人以上で転倒しないように注意して移動させてください。

ボールフィーダーダイヤル目安表

ダイヤル数値	1球の供給に要する時間(約)
0	動かない
(小目盛 1 つめ)	90 秒
(「0」と「2」の間)	20 秒
2	9 秒
4	4.5 秒
6	3.3 秒
8	2.9 秒
10	2.8 秒



※ボールフィーダー
　1球の供給に要する時間（約）
　・50Hz の場合　8.5 秒
　・60Hz の場合　7 秒

消耗品について

※マシーンをよく理解された方が行ってください。

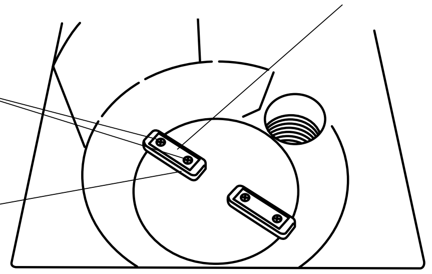
消耗部品

ウレタン板

・交換を要する症状
→ホッパーからボールが流れてこない。ウレタン板が摩耗している。

・必要工具
→プラスドライバー×１本

・取外し作業
→ウレタン押え板 及びウレタン板を取り付けている皿ビスをプラスドライバーで反時計回りに回して取り外してください。



・取付け作業
→ウレタン押え板及び新しいウレタン板を皿ビスで取り付けます。
皿ビスをプラスドライバーで時計回りに回して締め付けてください。

注　油

→ボールフィーダーをよりよい状態に保つために、定期的に、防錆スプレー・潤滑油スプレーでチェーンに注油してください。

トラブルシューティング

**使用中にトラブルがあった際には、使用を中止し異常箇所を確認してください。
問題が解決するまでは使用しないでください。**

故障と思う前に確認していただきたいこと

電源スイッチをＯＮにしてもボールフィーダーが動かない

原　因　1 ダイヤル数値が「０」になっていませんか？
2 コンセントに電源プラグを差し込んでいますか？
3 電圧が不足していませんか？
4 コンセントに電気がきていますか？
5 リード線が断線していませんか？

処　置　1 ダイヤルを回し、適度な投球間隔に調整してください。
2 コンセントに電源プラグを差し込んでください。
3 単独回路（20 A）で使用してください。
電圧が不足している場合は、電気工事店にご相談ください。
4 他の電化製品またはテスターで確認してください。
5 新しいリード線に交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

故障と思う前に確認していただきたいこと

作動するがボールを供給しない。

原　因　1 ツメが変形・破損していませんか？
2 シュートＡが変形・破損していませんか？
3 ボール送りスプリングＡにボールが詰まっていませんか？

処　置　1 新しいツメに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
2 新しいシュートＡに交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
3 糸切れ・革切れ・革の浮いているもの・濡れたもの・水を含んで重たいものなどを使用した場合､ボール送りスプリングＡに詰まる可能性があります｡状態の良いボールを使用してください。

ボールがシュートＢで止まる。

原　因　1 シュートＢの固定角度は正しいですか？

処　置　1 ボールが滑らかに転がるようにシュートＢを固定してください。
固定後、ピッチングマシーンのボール投入位置に合わせて、本体テーブルを上下調整してください。

ボールがボール送りスプリングＢで詰まる。

原　因　1 適切なボールを使用していますか？
2 シュートＢやピッチングマシーンのボール投入口との接続部が屈曲していませんか？

処　置　1 糸切れ・革切れ・革の浮いているもの・濡れたもの・水を含んで重たいものなどを使用した場合､ボール送りスプリングＢに詰まる可能性があります｡状態の良いボールを使用してください。
2 ボールフィーダーの設置場所を前後左右にずらしたり、本体テーブルを上下させ、ボールが滑らかに転がるように調整してください。

アフターサービスについて

保証について

保証書について

このボールフィーダーには保証書を別途添付してあります。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間中の故障について

保証期間中に故障が発生した場合は、保証書をご提示のうえ。お買い上げの販売店にご相談ください。
※保証期間中でも、有償修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

万一、故障が発生した場合は、一度この取扱説明書をよくお読みいただき、ご点検ください。

工場定期点検について

ボールフィーダーは使用開始後、２～３年後経過毎に工場定期点検<有料>が必要となっております。

工場定期点検では未然に故障・事故の発生を防止し、常に良い状態で安全にご使用いただく為に各部品の点検・調整を行います。
工場定期点検は工場到着後 約10日間（実働）で完了致します。別途部品交換<有料>が必要な場合は最大 約14日間(実働)が追加で必要になります。(時期によっては異なる場合があります。)
ご依頼・お問い合わせは、お買い上げの販売店にご相談ください。
※商品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、梱包費、その他の諸掛かり費用はお客様のご負担となります（適切な梱包のうえ、ご送付ください)。ご返送の場合も同様にお客様のご負担となります。

修理について

故障が発生した場合は「トラブルシューティング」を参照し、故障内容をお調べください。

消耗部品について

お客様にて部品交換を行う場合は、お買い上げの販売店にて、ボールフィーダーの品番（商品名)・製造番号・交換希望の部品名称を お申し付けください。

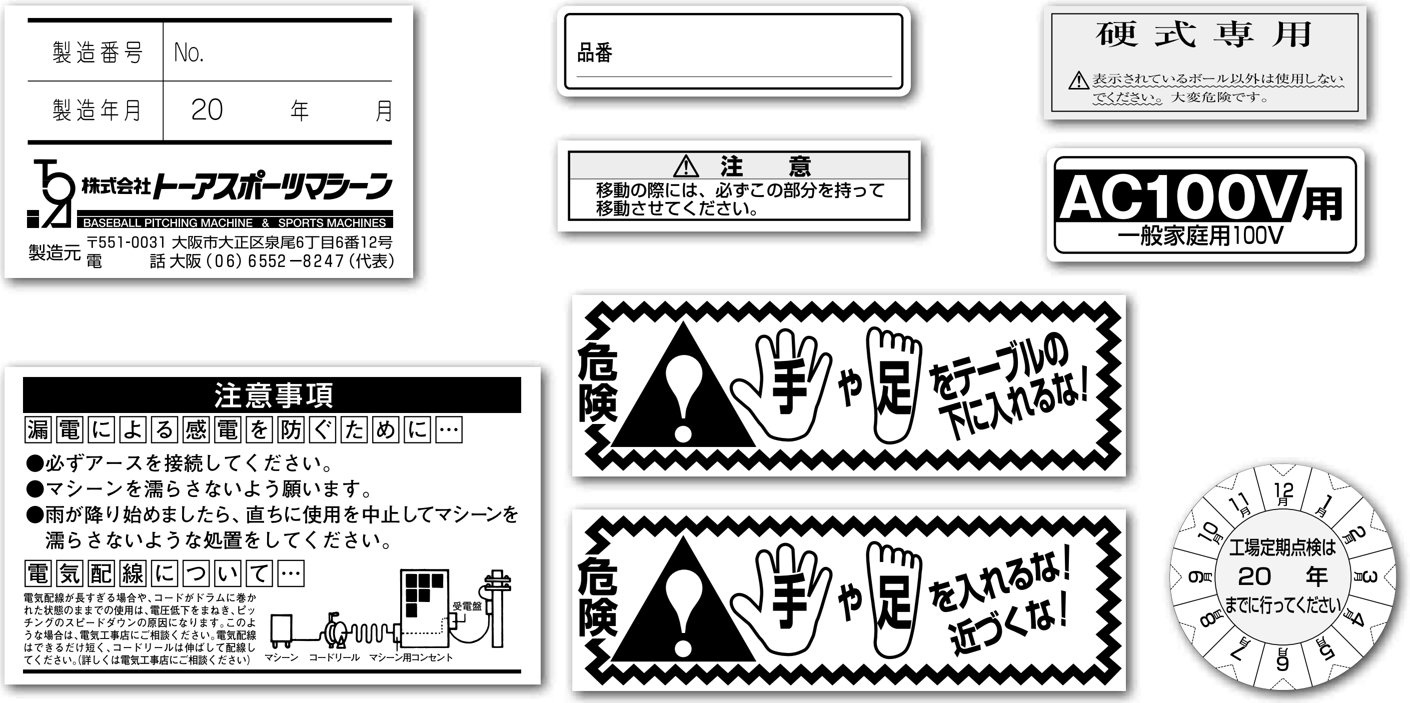
その他の修理

消耗部品以外の部品交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。故障内容によっては工場での修理となります。修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて承ります。この際には、常に良い状態で安全にご使用いただく為に、部品交換作業に加え工場定期点検を行います。

修理費用について

修理に掛かる部品代・交換作業代・工場定期点検料・その他の諸掛かり費用に関しては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

表示シール（一覧）



マシーン本体に貼ってあるシールがはがれたり、消えたりした場合は、すぐに販売店に連絡してください。無償にて送付致します。
また、ここに掲載されているシールは、実物大とは異なりますので予めご了承ください。

仕　　様

FAC

使用球	硬式
使用電源	AC100V　50/60Hz
モーター	ACモーター　15W × 1ヶ（メイン） ACモーター　25W × 1ヶ（ホッパー）
寸法（約）	奥行き 121 × 正面幅 90 × 高さ 161 ～ 214cm
本体質量（約）	145kg

※商品の仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめ ご了承ください。

製造元 株式会社トーアスポーツマシーン
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES
本　　社 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号 TEL.(06)6552-8247
松阪工場 〒515-0041 三重県松阪市上川町長楽3456-2 TEL.(0598)28-6669
http://www.toa-sports-machine.co.jp

12.12⑮00

Printed in Japan